

1.件名	3.2 アジア地域
2.事業名	3.2.7 国内機械産業の中国、東南アジア地域での公共事業への進出支援調査2003(H15)
3.キーワード	機械産業、中国、東南アジア、公共事業、パキスタン、中国、マレーシア、タイ、水道、下水道
4.目的	<p>中国や東南アジアの国々においては、工業化の進展や衛生意識の高まりに伴い、水道や下水道等水関連分野でのインフラ整備が緊急の課題となっている。また、これらの国々におけるインフラ整備は国家予算が限られているために、海外の民間資金を利用した PFI 方式による設備建設が多くなっている。</p> <p>本調査では、我が国の水関連企業が中国・東南アジアに進出する場合に想定される課題の検討と対応策を調査とりまとめて、機械産業界に提言することで、我が国機械産業の海外進出を促すものである。本調査は現地訪問調査を中心に進め、パキスタン、中国、マレーシア及びタイの訪問調査を行った。その結果、以下の結論を得た。</p> <p>(1) 中国</p> <p>①北京市の水がめである密雲ダムでは、年々貯水量が減っており、新水源の開拓、水使用合理化が緊急の課題である。</p> <p>②2008 年の北京オリンピックに向けて、「南水北調」計画が進んでいる。</p> <p>③予算不足から、BOT 方式による民間水道が大都市を中心に進んでいる。</p> <p>(2) パキスタン</p> <p>①浄水場の運転管理の悪さに加え、水道管の老朽化により水道には問題が多い。</p> <p>②水道施設の運転管理の充実や水道管の更新など、現在の設備を整備する方法と、水使用個所で膜処理設備等を設置して安全な飲料水を確保する方法の 2 方法が考えられる。</p> <p>③緊急を要する病院や学校などでは後者を優先的に進めていく必要がある。</p> <p>(3) マレーシア</p> <p>①水道・下水道に関して新設や改造の計画はあるが予算の不足から実施に移せない計画が多い。</p> <p>②国内企業以外は公共事業ができない体制であることから、PFI 事業として進出する場合にはマレーシア国内企業と緊密な関係を築く必要がある。</p> <p>(4) タイ</p> <p>①地盤沈下対策として地下水の使用を禁止し、上水道への切替を進めているが、現状では上水道に対する水質、水量等不安要素が多い。</p> <p>②PWA(地方水道公社)管轄の全国で、227 の水道施設のうち、9 施設について民間水道で運営されている。</p> <p>③現在 PWA 自体の公社化の計画が進んでいる。PWA の管轄内においては、現在新しい民間水道の計画はない。</p>
5.参照	補助：(財)機械振興協会